

みどりみらい 3rd Season ぐんじとしのりの議会報告

2011/10/16

Vol.11

西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362

E-MAIL ID : toshigunji@hotmail.com / Twitter : @toshigu

http://www.mmirai.com (HP) <http://togu.seesaa.net/> (ブログ)

平成 23 年第 3 回印西市議会定例会報告 (2) ～ 印西市の放射能問題を考える (2) ～

いつもお世話になっております。印西市議会第3回定例会（9月議会）は、10月5日（水）迄の会期にて開催され、閉会しました。（市議会最終日には「放射線低減策」が補正予算として審議され、① 印西市市内、全小中学校、幼稚園、保育園の側溝、雨樋の清掃を実施。② 私立保育園、幼稚園への補助は 20 万円を上限とすることが、全会一致で可決されました。＝可決されたので、清掃はできるだけ早く実施されます。表土の除去については今回の予算には入りませんでした。）

9/6(火曜日)に代表質問に立ちました。

以下、市当局への質問と回答です。

1. 放射線被曝に関する対応について

福島原発の事故を受け、インターネット等では、関東の放射線のホットスポットとして、流山市、柏市、松戸市等の名前が掲載され、一部の雑誌や地図には印西市もホットスポットの一つとして名前があがり、そのために子育て家庭に多大な心配や不安を与えている。放射能汚染・被曝から市民（特に子どもたち）を守ることにについて、印西市はどのような対応をとるのだろうか。

(5) 食物の放射線汚染に関わる給食等の提供について

学校給食の提供について、市では大手業者が安全なものを提供しているというが、その情報を広く市民に公開する予定はあるか。その情報は業者から文書により証明され、安全かどうかの判断をしているのでしょうか？

(回答/教育長) 学校給食で使用する食材は、4月より、食品の安全情報の収集に努めるとともに、出荷制限になった食材については、一切使用せず、産地がはっきりしている食材だけを使用し、給食の提供に努めております。

また、1学期に使用した食材の産地につきましては、給食センターのホームページにおいて公表をしており、2学期以降も産地の公表についても、継続して実施していく予定でございます。さらに、全ての納入業者に文書で、食材の産地及び出荷時期および放射線量測定結果の証明書が出せるものについては提出するよう、申し入れを行いました。

今後、市に放射能分析機が導入され、印西市産の農作物の測定が実施される予定ですので、この分析結果の情報をもとに、給食で使用する印西市産の農産物の安全性を確認しながら、安全で安心な美味しい給食の提供に努めてまいりたいと考えております。

<解説> この質問は「給食の食材」についてだけでなく、そもそも論から言えば、「給食の提供」について、選択性もありだろうというのが前提になっています。

a. 「給食の食材」について

* 給食での牛肉の使用についてはどう考えるか？

(回答要旨/教育部長) 給食のハンバーグやミートソースなどで、牛肉を一人当たり8g程度使用していましたが、9月、10月の給食では、牛肉を使用せず、豚肉や鶏肉を使用する予定です。

(私/ぐんじとしのりからは「再開については慎重になるべきだ」と伝えています。)

* 魚の使用については情報公開されていないが？

(回答要旨／教育部長) 魚は生で出すものではなく、煮たり、焼いたり加工をするものですから。(理由になっていない。。基準値以下ですが、魚でもセシウムが検出しれていると思われるものも使用しているはず。情報公開を求めていきます。)

* 産地の公開が学期に1回とは少なすぎ。頻度をあげるべき。また放射線量の測定もすべきでは？

(回答要旨／教育部長) 産地の公表については、1学期の給食終了後に、公表しておりましたが、今後は一月ごとに公表していく予定です。給食の放射線測定につきましては、先進自治体の事例を調査研究してまいりたいと考えております。(8日(木曜日)に改めて給食の放射線測定について確認したところ、「食材の放射線測定を行うが、当日の食材は難しいが、どのような方法で何種類くらい、いつ行うかを検討している。流山、柏と同じレベルでは可能だ。」との回答をもらいました。＝流山、柏とも簡易型放射線物質分析機器による「サンプル検査」です。)

b. 「給食の提供」について

放射性物質が気になり、内部被ばくを考えると給食を食べさせたくない。「学校より給食を選択性にする」といった文書を出せないだろうか? あるママから以下のような文面をいただき、この文面をそのまま市議会本会議で読みました。「お弁当を持たせる正当性みたいな…通行手形みたいな感じで、出してもらいたいなあとと思います。」「クラスに3人くらい、お弁当の子が出れば、お弁当にすると話していました。お弁当を持たせたいママの共通の思いだと思います。」

「文書を出した事により、お弁当を持たせる方が何人出てくれば、悩んでいるママも、お弁当にしようと思えるようになるかもしれません。」市当局は市民の声にどのように応えるのか?

(回答／教育部長) 学校給食は、学校給食法に基づき、教育の一環として提供しているもので、食育を推進する上で、生きた教材としての給食の提供は大変な重要なことと考えております。

(解説) 結果的に市議会本会議では給食を「選択制にする」という文書を出してほしいと求めましたが、出すということに同意は得られませんでした。しかし、現在でも、教諭に「お弁当を持参する」旨を申し出ただけならば市としては相談に応じるとのことです。

(6) 放射線量の数値を公園や公共施設など測定した場所に明示し、市民への情報公開をすすめるべきだと思うが、どのように考えるか。

(回答／市長) 現在、放射線の測定結果は、ホームページ(HP)や広報への掲載、出先機関等への掲示により公表しているところがございますが、これらにより、市民への周知は図ることができています。

<解説> どれだけの市民が市のHPを見るのでしょうか? 見たとしても、必要な情報にたどりつくことができるのでしょうか? たとえば給食でどこの産地のモノを使っているか。なかなか、探せません。(給食センターのHPに記載あり。) 8月27日に放射線についての講演会があった。どこにも掲載されていない。広報に載せたから消しました。また、9/1号の広報ではスペースがなかったから、空間放射線量のデータを掲載しなかったという。信じられない対応です。

9/11(日曜日)に中部大学の中部大学教授の武田邦彦教授の講演会「こどもたちのみらいのために」に出席してきました。現在の放射線量で影響が大きいと考えられているのは0歳から7歳までの子どもたちです。(この講演会の要旨は9/12付の私のブログで紹介しております。)

放射線対策は私たちが月々かけている「保険」のようなものだと考えています。私は情報を公開し、皆様とこの問題に対して、引き続き情報交換しながらあたってまいります。(情報をどのように判断するかは市民の皆様、お一人お一人の考えによると思います。)

*印西市では市庁舎内に「放射線対策室」を設置しました。放射線対策室では、放射線対策や情報の収集などの業務を行います。環境保全課放射線対策室(内線366~368)・職員は3名体制

この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。市政の最新情報を求める方は私のブログやツイッターをご覧ください。(随時更新しています)市民参加のまちづくりを引き続き、皆様と行ってまいります。宜しくお願ひします。

ぐんじとしのり